

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	黒川地区(奥野集落)	令和4年2月25日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	43.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	43.0ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	17.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	9.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>○集落内の現役農家の平均年齢は約68歳(R2.4.1時点)と高齢化が進んでおり、集落内での担い手の確保を図る取り組みが必要である。</p> <p>○奥野集落は典型的な中山間地域であり耕作条件の悪い農地が多く、平坦地に比べ生産経費がかさむことに加え、近年の米価の低下により、農業収益が見込めない。</p> <p>○近年、特にイノシシによる鳥獣被害が顕著となり、耕作の意欲が減退している。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>集落内で円滑な世代交代を図ることで、担い手を確保し耕作を継続していく。</p> <p>今後、担い手が不足する場合は、中心経営体ではないが集落内の比較的若い規模拡大志向農業者に農地集積を進め、地域全体における営農継続を図っていく。</p>

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 2	水稻、麦、 果樹等 (内、大豆	6ha 3ha)	水稻、麦、 果樹等 (内、大豆	6ha 3ha)	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【農地の貸付意向】

アンケート結果等により農地の貸付意向が示された農地は16筆、18,955㎡である。

【鳥獣被害防止対策の実施】

近年、イノシシ等の被害が増加しているため、既設の防護柵の定期点検や地区内の地図を活用して新たな被害発生場所を特定し、新規設置等の検討を行う。

【中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金制度の活用方針】

当該交付金を積極的に活用し、農地・水路・農道などの維持管理を図る。

【農道や農地進入路等の整備】

農道や農地への進入路等の整備を令和2年度から令和6年度までに計画的に実施し、将来にわたり農業を継続できるような体制整備を行う。

【農業用機械の共同利用の推進】

農業者の生産技術の向上と農業経営の安定化を目的に、農業用機械の共同利用の促進と、新たな機械の導入検討を行う。